

令和2年7月6日

保護者 殿

新宮町立新宮北小学校
校長 高口 道利

水難事故防止について（再）

盛夏の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のことと拝察いたします。また、新型コロナウイルス感染防止対策等、様々な取組にご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、気温の上昇に伴う熱中症の発症とともに、全国的に子どもの水難事故が多発しており、福岡県内においても川や用水路での死亡事故が発生しています。また、ご承知の通り熊本豪雨により甚大な被害が発生しており、本町においても川や用水路の増水により危険な状況になることが考えられます。

つきましては、下記の点について再度学校で指導を行います。ご家庭でも子どもたちへのご指導及び注意喚起をお願いいたします。

記

1 水難事故対策

- (1) 子どもだけで、海や川で遊ばない。特に、転落等の恐れがある場所や藻が繁茂している場所、深みのある場所等の危険箇所近づかない。
- (2) 水たまりには入らない。側溝のフタが外れていたり溝との境がわからなくなっていたりすることがあるため、特に登下校時には注意する。
- (3) 掲示板や標識などで危険区域と示された区域内に入らない。また、遊泳区域以外の水域で遊泳しない。
※ 本年度、新宮海水浴場は感染防止対策のため開設されません。そのため海の家の営業もなくライフセーバーの配置もありません。離岸流の発生もありますので学校では、本年度、新宮海岸では泳がないという指導を行います。
- (4) 風雨、落雷などの天候不良時や河川が増水する恐れが高い時には、釣りや水泳、水遊びは避ける。

2 留意事項

子どもの重大な水難事故は、わずか十数センチの水深でも発生します。足を少しぬらすくらいだからという油断が、子どもの水難事故を招く可能性もあります。

また、海や川などの自然の水辺は、穏やかに見えても流れや波があり、水底も平ではありません。前日までの大雨により、川が増水し流れが速くなる場合もあり大変危険です。自分は大丈夫という油断をせず、十分注意して下さい。